

# 令和5年度 第1回 燕市社会教育委員の会議 会議録（要旨）

1 日 時 令和5年7月10日（月） 午前10時00分～11時40分

2 開催場所 燕市中央公民館 3階 中ホール

3 出席者

伊皆 桂子 委員、加藤 一夫 委員、神子 尚彦 委員、須玉 研一 委員  
神保 一江 委員、高桑 紀美江 委員、寺澤 清仁 委員、柳原 康浩 委員

4 欠席者

なし

5 説明のため出席した職員

燕市教育委員会 教育長 小林 靖直、教育次長 岡部 清美  
社会教育課 課長 石黒 昭彦、参事 丸山 篤、課長補佐 古澤 百合子、  
文化振興係長 菅原 巧、生涯学習推進係長 石村 由紀、主任 布施 智也

6 傍聴人 なし

7 報道機関 なし

8 会議に付議した事件

**報告**

- (1) 令和4年度燕市社会教育委員の活動報告について
- (2) 令和5年度中越地区社会教育委員連絡協議会第1回代議員会報告書について
- (3) 令和5年度燕市社会教育委員活動計画について
- (4) 令和4年度燕市公民館事業報告

**協議**

- (1) 令和5年度社会教育関係団体への補助金交付について

**その他**

## 9 会議録

### 報告

#### (1) 令和4年度燕市社会教育委員の活動報告について

《事務局説明》

(委員からの質問なし)

#### (2) 令和5年度中越地区社会教育委員連絡協議会 第1回代議員会報告書について

《事務局説明》

中社連会誌原稿執筆者選定について

(執筆者は神子委員に決定)

中社連会誌表紙写真の選定について

○委員

今年度は表紙写真が燕市の担当となっている。何か題材はあるか。

○委員

通水100周年ということで大河津分水路はいかがか。

○委員

勉強会等も行っているの、長善館等もいいのではないか。

○委員

まだ時間があるので、他に何かいい資料があったら事務局と相談し、最終的には写真等を見せていただいて決めさせていただきたい。

県社連研究会・中社連研究集会の発表について

○委員

来年度の県大会・中越大会は燕市が発表の担当となっているがどうするのか。まだ時間があるとはいえ、準備も必要ではないか。

○委員

まだ時間的には余裕があるので、自主研修会の中で相談することとしたい。その後、事務局と調整しながら詰めていければと思う。

#### (3) 令和5年度燕市社会教育委員活動計画について

《事務局説明》

○委員

社会教育委員の会議が年間2回から1回に変わった理由を再度確認したい。

○事務局

前回2月の会議でも回答させていただいた通り、予算のない中で研修会等参加の機会を確保するために、会議を1回とさせていただいた。

○委員

6月に参加した研修会の資料の中に、県内全市町村の社会教育委員の活動報告があったが、会議を1回しかやっていないところは3町村だけ、あとは3回ないし2回実施している。そのような中で1回にするというのはいかがなものか。

自主研修会自体も会議が2回だけでは活動がまとめられないことから始めた。会議が1回だけでは活動できない。自主研修会で補うということか。

予算については、研修会等の報酬を削って会議にまわしたほうがいいのではないか。

○事務局

令和5年度については申し上げた通り。しかしながら、研修参加よりも会議が重要であるという意見を頂戴した。来年度予算に向け、どれだけ確保できるかわからないが、2回以上確保できるよう努力する。

○委員

今年度1回なのは承知した。例えば今後参加予定の研修会を見送り、会議をもう1回開くことは可能か。

○事務局

予算は研修会の参加ということで確保しており、異なる用途で使用することは、予算の執行上不適切となる。来年度はなんとか確保したい。

○委員

弥彦村との交流会はどうなったのか。また会議録がホームページにアップされていない。

○事務局

弥彦村との交流会は、なかなか都合が合わず調整中となっている。会議録の方は近日中に掲載する。

(4) 令和4年度燕市公民館事業報告

《事務局説明》

○委員

粟生津公民館・体育センターで行う事業に小学校の子どもたちも参加させてもらっている。今年は粟生津小学校が150周年を迎えることもあり、10月に記念式典を開く予定。学校を含めた地域づくりの一環、あり方の一つとして紹介させていただいた。

(他に委員からの質問なし)

## 協議

### (1) 令和5年度社会教育関係団体への補助金交付について 《事務局説明》

#### ○委員

昨年の会議の際、文化協会の会則を変更していただきたいという意見が出たと思うがどうなったのか。

#### ○事務局

今後、検討させていただく。

#### ○委員

補助金の交付決定額と実績の差額3万円は、市に返納されたと理解していいのか。

#### ○事務局

3万円は返納していただいている。年度を超えての返納であるため、記載がなく大変申し訳なかった。

#### ○委員

予算案について、繰越金が10万円ほど多くなっているが、補助金については昨年と同じ額を申請している。これでは補助金が決まってい、それに合うように予算案を組み立てているように見えてしまう。

#### ○事務局

協会の皆さんの発表の場を設ける上で必要な金額であると考えているが、どういった事業をするかを考えて予算を組むのが本来であるので、協会の方に説明しながら、予算について再度精査し、検討していきたい。

#### ○委員

予算書の事業費で、事業実施支部分と支部事業分とがあるが違いは何か。非常にわかりにくい記載になっている。

#### ○事務局

今後は分かりやすい表記としたい。なお、文化部には燕支部もあるが補助金としての予算がないということで表記していない。

## その他

#### ○委員

自主研修会の活動としてスマホ相談室を開催している。委員が講師として対応しているが、外部の方を講師として呼ぶことはできないか。例えば詳しい職員にサポートをお願いできないか。

#### ○事務局

ボランティアの募集等で協力することは可能というお話をしたと思う。職員のなかには精通した者もいるが、資格や指導力を持ち合わせているわけではないため、人的支援は難しいと考えている。

○委員

今年度は社会教育委員の会議が1回ということで、昨年まで開催されていた2月の会議の際もらっていたような資料や報告等は来年7月の会議まで待たなければならないということか。

○事務局

案内等、必要なものがあればその都度委員の方々にお渡しする。また何か意見などがあれば、いつでもお聞かせいただき対応してまいりたい。

○委員

コミュニティースクールが来年度から本格始動ということで、小学校と中学校はどうなっていくのか興味がある。学校としてはどう考えているかお話いただけるとありがたい。

○委員

燕北中学校のほうでは今年度準備委員会を立ち上げ、小学校、中学校合わせたコミュニティースクールという形でやっていきたい。学校では難しい部分を地域の方に働きかけてもらって学校に協力してもらい、地域の方からどんどん学校に入ってきてもらうような組織作りも必要。地域コーディネーターの方等も連携していくことが重要なので協力願えればと考えている。

○委員

粟生津地区とすると、粟生津の文化センターがある。いろいろな活動をしているので、学校単独とか地域単独でやっていたものをさらに交流できるような形で、今あるものを継続しながら、さらに発展させていければいいのではないか。

○委員

身近な自治会という観点からいえば、若い人の参加が少なく、役員の後継者がいないという現状を認識している。そうした中で、公民館事業やサークル活動は横のつながりが期待できるのではないか。そうした明るい兆しも見えなくはない。少子高齢化で何もできないのではなく、社会教育ができることもあるのではないかと感じている。

閉会